



佐々木 □さん (17歳・岡本一区)

秋田中央高校2年、美術部所属。洋画分野で主に風景画を描き、本年6月の県美術展覧会では入選。現在は11月の県高校総合美術展に向け、出品作品の制作に取り組みます。

1枚のキャンバスに 自らの思い描く世界を表現

秋田中央高校美術部のたった1人の部員として活動する佐々木さん。小さい頃から絵を描くことが好きで、中学時代は総合文化部に所属し、水彩画やポスターの制作などに取り組みしていました。高校進学の際には運動部に入ろうか迷ったそうですが、「自分がいちばん熱中できるのは絵を描くこと」という思いから美術部へ入部し、洋画分野で本格的に絵を描き始めました。

「洋画の中でも風景画を描くことが多く、自分の目で実際に見て直感的にいいと感じたものや、好きなものを作品の題材にしている」

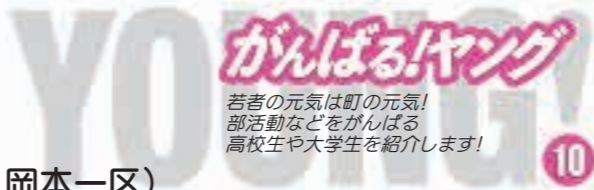
そう話す佐々木さんが作品づくりのヒントにしているのは、ほとんど

が自宅周辺の風景です。散歩を欠かさず、自然が生み出す空模様や刻々と変わる景色を写真に収め、「スマートフォンは風景写真で埋め尽くされている」と、その数は膨大なものになります。

その写真を参考に、自らの感性に基づいた色彩感覚に加え、得意とするグラデーション(*)などの色の使い方を駆使し、縦1丈20寸、横1丈の大きなキャンバスに自分の思い描く世界を表現します。

「絵の中に登場する一つひとつの物に合った色の塗り方や、全体の統一感を出すことなど難しい部分はありますが、理想通りに描けているときはとても楽しい。どうしたらうまく絵で表現できるかということを考えながら、技術を磨いている」

※色の明暗・色調を徐々に変化させて表現する手法。



若者の元気は町の元気!
部活動などをがんばる
高校生や大学生を紹介します!

飽くなき向上心を抱きながら、絵を描くことと向き合う佐々木さん。現在手がけているのは、11月の県高校総合美術展に出品する作品で、風景の中に「人物」を取り入れた構図のものです。

佐々木さんは、「人物を描くのは苦手だが、その部分をいかに自然に魅せながら、よりリアルに風景の自然な感じを伝えたい」と、自分への挑戦の意味も込めた作品で上位入賞を目指します。



ふるさと五城目会

お国訛りへの思い

酒井 ユリ子

「えだがあゝ。変わりにやがあゝ。おもなんとなが頑張ってだやゝ。最近、ひじやかぶ、いでやして……」

私は、「湯の越の宿」の近くにあって内川小学校校舎の最後の卒業生です。今は、埼玉県川口市に住んでいます。集団就職の最後の頃に上京し50年になりました。

40歳の頃は、パートでスーパーの品出しの仕事をしていました。とある日、店長にお願いされ、サービスカウンターで店内放送することになりました。

「こ来店のお客様にお買得商品のご案内を申し上げます。青果売場よりキャベツが大変お買い得になっております……」という店内放送をした日の夕方、青果売



ふるさと五城目会総会にて内川小の仲間と。右端が私です。

り場の主任から「酒井さん、店内放送よかったですね。お国訛りがなんとも言えずいいよ」と声をかけられました。当時の私は、恥ずかしさから翌日から店内放送をお断り

してしまいました。

あれから25年経ち、現在は介護の仕事をしています。先日、息子様から相談があり、75歳になるお母様とお話することがありました。お母様のイントネーションに懐かしさを覚え、「出身はどこですか。」と尋ねてみました。「秋田の湯沢です。」と。「湯沢だあ。私も秋田の五城目だや!」「えっ、なんだあ」と、そこから話はずみ、亡くされたご主人のことやこれまでの生活のことなど、たくさんお話しくださいました。そのうち、お母様は笑顔と涙が混じった様子で話していました。「ご主人を亡くされた悲しみと不安を方言が外に出してくれなかった瞬間でした。」

首都圏在住の高齢者の多くは、地方から進学や就職で上京された方々です。介護施設を利用される方も増えていきます。今回の事例のように、方言は記憶を呼び起こし、心の壁を取り除いてくれます。私は今、何のためらいもなく方言で話すことができます。若い世代の方々は方言で話す人、訛りのある人が少なくなってきました。ですが、地域特有の文化は受け継いでほしいと思います。私も方言を生かし、コミュニケーションを広げて行きたいと思えます。

ケリーの ごじょうめ 奮闘記



Kelly Joan Morgon
ケリー・ジョアン・モルゴン

2020年12月に町の英語指導助手 (ALT) に着任しました。出身地は、オーストラリアのノーザンテリトリー州のハンプティドゥーという町です。得意なスポーツはネットボール/よろしくお願ひします(≧▽≦)

ハロウィーンとスープ作り

This month we started the second round of the evening beginner English sessions. As we approach the end of the month it has me thinking about Halloween and how it is celebrated in different countries. In Australia, it is barely celebrated unless you are in a major city where people may do more with it. In the last few years, it has been more common to have parties around Halloween but many people still see it being an American tradition.

10月には、英会話教室の第2弾が始まりました。月末が近づくにつれ、ハロウィーンに関してや、またそれぞれの国でどのように祝われるかについて考えさせられます。オーストラリアでは、大都市でない限

りほとんど祝われることはありません。ここ数年は、ハロウィーンの時期にパーティーをするのが一般的になりましたが、ほとんどの人はそのことがアメリカの伝統だと思っています。

As winter draws closer I have been looking at different soup recipes that I would like to try and make during winter. One of them being a spicy roast pumpkin soup. So this is something I am looking forward to doing during winter. Until next time.

冬が近づいてきたので、冬の間で作ってみたいスープのレシピを眺めていました。そのうちの1つに、香ばしいローストカボチャのスープがあります。冬の間、いろいろなスープを作るのが楽しみです。また来月お会いしましょう。

ごじょうめの 文芸



一短歌一

吊しおく背広にきつと一ブラシ
かけて九月の歌会に向かふ

大川 小正

今日ひと日降ったり晴れたり陽が出たり
男鹿山苗に染まる夕暮れ

大川 工藤 誠子

今回で最後の検診となりし早朝
湯・水禁止に喉の渇けり

大川 大石 政子

今日のこの涼しさに秋らしく
青空高くアキアカネ飛ぶ

岡本 小玉 明子

一俳句一

祖母 母とわたしをつなぐ菊繪

高千 小玉 悦

初初の手へば弾む一等米

湯ノ又 畑澤トミ子

過去帳の痛みを愁い盆の供花

高崎 館岡 絢

村ごとに小さき花野賞目指す

昭辰町 本間 富子

一川 柳一

願ひ事多くて神に嫌われる

長町 平川のぶ子

コスモスの揺れるあたりにある予感

西野 佐藤ちずる

本日の賛沢 五切れの本マゲロ

大川 渡部 光人

八月の涙は胸の奥に置く

紀久栄町 柴田 銀河